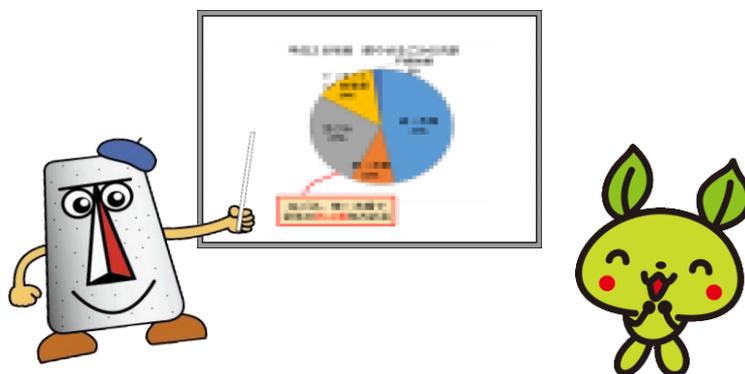


ごみ減量アイデアコンテスト二次審査 公開プレゼンテーション大会



平成30年7月7日(土) 14時～

宇部市文化会館2階研修ホール

開催要旨

本市は、平成33年度までに1人1日当たりのごみ排出量を840gに削減する目標を掲げています。しかし、平成28年度の1人1日当たりのごみ排出量は1,050gで全国平均(925g)や山口県平均(994g)を上回っている状況です。

そこで、平成30年度は「1人1日100g減量」を目標とする「ごみダイエット大作戦」を展開しています。その取組の一環として、市民の皆さんからごみの減量化に向けたアイデアを募集しました。

本日は、応募いただいたアイデアの中から一次審査を通過されたアイデアの応募者にその内容をプレゼンテーションしていただき、最優秀賞(1点)、優秀賞を(2点)を選定します。

注意事項

本日は、お越しいただきありがとうございます。

傍聴はお静かにお願いします。

会場の入退場、傍聴席での座席の移動は自由ですが、発表中の移動はできるだけご遠慮ください。

傍聴者の皆様からのご意見は、直接受け付けることができませんので、ご了承ください。

携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切りください。

会場内での録画、録音、撮影等の制限はしておりませんが、発表の妨げとならないようにしてください。

会場内での喫煙と休憩時間以外の飲食はご遠慮ください

大会スケジュール

14:00~14:15 開会挨拶・審査員紹介

14:15~15:15 公開プレゼンテーション（発表順）

①食育を通じて、台所ごみの脱水による水分減量を32g/一日/一人を実現する

発表者 ESDうべ推進協議会と
かみうべまちな駅「かみうべまちカフェワークショップ」共同提案

②資源ごみ収集システムの改善で地域を元気に！

発表者 佐貫 誠

③古着・古布回収でゴミ減量と地域活性化！

発表者 西岐波校区コミュニティ推進協議会

④生ごみの資源化で宇部を活性化！

発表者 有限会社原田建設 ゴミ減量プロジェクトチーム

⑤みんなで、楽しく、食材ロス0を目指そう！#食材無駄なく使ってみた#捨てないよ#もったいない

発表者 宇部フロンティア大学附属香川高等学校 生活デザイン科2年
佐竹 倅太
河村 百音

⑥ゴミ量計によるゴミ排出量の見える化～スマートシステムの構築～

発表者 藤原 七月

15:15~15:20 来場者投票

もっとも優秀だと思うアイデアの投票箱にコインを投票してください。

15:20~15:45 休憩・審査員審査

15:45~16:15 結果発表・表彰・講評

16:15~16:20 閉会挨拶

アイデアの概要(発表順)

①アイデア名	食育を通じて、台所ごみの脱水による水分減量を32g/一日/一人を実現する
発表者	ESDうべ推進協議会とかみうべまちの駅「かみうべまちカフェワークショップ」共同提案
アイデアの内容	家庭用の遠心脱水機により、生ごみの脱水を行い水分量を減らす。「かみうべまちのえき」が主催する食育イベントを起爆剤として、生ごみの脱水キャンペーンを広げていく。
②アイデア名	資源ごみ収集システムの改善で地域を元気に
発表者	佐貴 誠
アイデアの内容	現在宇部市が行っている「再生資源集団回収奨励金」制度を廃止する。代わりに、月一回回収しているすべての資源ごみの収集を自治会が行い、収集量に応じて交付金を交付する「新・うべ資源ごみ回収システム」を作る。
③アイデア名	古着・古布回収でゴミ減量と地域活性化！
発表者	西岐波校区コミュニティ推進協議会
アイデアの内容	現在、市の取り組みで古着・古布の回収を実施しウエス（工業用雑巾）にリサイクル（再生利用）しているが、リユース（再利用）する取り組みはない。そこで、西岐波校区コミュニティ推進協議会でリユースBOXを設置し、安価で直接販売し、校区の活動資金に充てる。この取組を全校区に広げていく
④アイデア名	生ごみの資源化で宇部を活性化！
発表者	有限会社原田建設 ゴミ減量プロジェクトチーム
アイデアの内容	各家庭から出る生ごみをとときわ公園へ持ち寄ってもらい、公園内に設置したコンポストで堆肥化し、できた堆肥は園内の植物に利用する。生ごみを持ってきた家庭には、園内で利用できるチケット等を配布することで動機づけをするとともに、ときわ公園の活性化を図る。
⑤アイデア名	みんなで、楽しく、食材ロス0を目指そう！ #食材無駄なく使ってみた #捨てないよ#もったいない
発表者	佐竹 倭太・河村 百音（宇部フロンティア大学付属香川高等学校生活デザイン科2年）
アイデアの内容	<ul style="list-style-type: none"> イラスト等を使い、楽しく取り組める「食材管理表」の活用 「食材管理表」と連携した「食材管理アプリ」の活用 「食材ロスメニュー」の活用 「生ごみを乾燥させて捨てる」の提案
⑥アイデア名	ごみ量計によるごみ排出量の見える化 ～スマートシステムの構築～
発表者	藤原 七月
アイデアの内容	家庭にごみ量計を設置し、各家庭のごみの量を計量し把握する。ごみの量を見える化し、ごみ削減に対する意識を向上させ、ごみの削減につなげる。

アイデア賞のご紹介

今回二次審査に進まなかったアイデアの中から、個人で手軽で簡単に取り組める下記のアイデアを「アイデア賞」に決定しました。

アイデア名	明日のお弁当にするけえ、置いちゃって～
受賞者	且原 涼楓（宇部フロンティア大学附属香川高等学校専門科生徒会）
アイデアの内容	残った麺類やパスタをリメイクしてできるレシピやその料理の過程で出る湯を使って除草をしたり、ペットボトルを利用して水耕栽培を行う